



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
コード番号 3679 URL <https://zigexn.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員 CEO（氏名）平尾 丈
問合せ先責任者（役職名）取締役 執行役員（氏名）波多野 佐知子（TEL）03(6432)0350
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 未定
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満四捨五入）

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,460	33.0	1,505	24.9	1,203	23.7	1,207	24.3	847	22.0	847	22.0	852	21.9
2023年3月期第1四半期	4,105	7.4	1,204	4.6	972	4.4	971	4.5	694	5.4	694	5.7	699	7.6

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	8	15	8	15
2023年3月期第1四半期	6	45	6	45

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	30,310		16,509		16,509		54.5	
2023年3月期	30,393		16,073		16,073		52.9	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する 当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	23,300	24.5	6,500	21.9	5,300	26.8	5,300	26.2	3,650	24.6	35	10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	111,700,000株	2023年3月期	111,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	7,698,090株	2023年3月期	7,698,090株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	104,001,910株	2023年3月期1Q	107,591,985株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業は、ライフサービスプラットフォーム事業とその他で構成されております。

ライフサービスプラットフォーム事業は主力事業である「Vertical HR」、「Living Tech」と、安定的なキャッシュ・フローを生み出す「Life Service」から構成されており、それぞれの状況は以下のとおりです。

a. Vertical HR

Vertical HRは、株式会社リジョブ（美容、ヘルスケアの領域に特化した求人情報を提供する媒体『リジョブ』を運営）、株式会社ミラクス（介護・保育分野における人材紹介・派遣事業『ミラクス介護』等を運営）、株式会社Struct（建設領域に特化した人材紹介事業『建設JOBS』を運営）、株式会社ビヨンドボーダーズが運営する不動産領域に特化した人材紹介事業『リアルエステートWORKS』、株式会社タイズ（メーカー領域に特化した人材紹介事業『タイズ』を運営）、株式会社オーサムエージェント（運送領域に特化した求人情報を提供する媒体『ドラピタ』を運営）から構成されております。

株式会社リジョブに関して、掲載事業所数は昨対比で安定的に増加しております。採用率はサロン利用者の増加に伴い、高い状況が継続しております。当事業に係るユーザーサイドにおいては、求職者の動きは堅調に推移しております。

株式会社タイズに関して、クライアントの採用ニーズ及び求職者ニーズはともに堅調に推移しております。

その他事業に関して、全体として採用ニーズは堅調であり、建設やドライバー等の領域では高い水準が継続しております。また求職者ニーズも同様に堅調に推移しております。

b. Living Tech

Living Techは、『賃貸スモッカ』や株式会社ビヨンドボーダーズが運営する越境不動産取引事業『SEKAI PROPERTY』等の不動産に関連するメディア、リフォーム会社比較サイト『リショップナビ』やプロパンガス会社比較サイト『エネピ』等のライフサポートに関連するメディアから構成されております。

『賃貸スモッカ』に関して、クライアントサイドにおけるインターネット広告出稿需要は堅調である一方で、ユーザーサイドにおいては、インフレに伴う支出抑制影響等もあり、引越し需要はやや減退しております。

『SEKAI PROPERTY』に関して、物件の仕入れ状況は、東南アジア諸国のマクロ環境に特段問題はなく堅調に推移しております。ユーザーサイドに関しては、アウトバウンド需要が増加傾向にあります。

『リショップナビ』や『エネピ』等のライフサポート領域に係るクライアントサイドにおいては、インターネット広告出稿需要は比較的堅調に推移しております。ユーザーサイドにおいては、高単価のリフォーム需要が一部減退しているものの、全体としては堅調に推移しております。ガスのスイッチング領域は一時的な需要の高まりが落ち着き、やや減退傾向にあります。

c. Life Service

Life Serviceは、主に個人ユーザー向けのフランチャイズ比較サイトである『フランチャイズ比較.net』、結婚相談所比較サイト『結婚相談所比較ネット』等の比較メディア事業や株式会社アップルワールド（海外ホテル予約媒体『アップルワールド』等を運営）、株式会社ティ・エス・ディ（旅行会社向けのホテル予約媒体『Rikisha Easy REZ!』等を運営）等から構成されております。

『フランチャイズ比較.net』に関して、フランチャイズ領域の広告出稿需要及び独立、開業を志向するユーザーの動きはともに堅調に推移しております。

株式会社アップルワールド及び株式会社ティ・エス・ディに関して、ユーザーサイドにおいては、国内旅行需要は底堅く推移しており、海外渡航需要に関してはレジャー領域で円安の影響により緩やかな回復となっているものの、業務渡航領域では堅調に回復しております。クライアントサイドにおいては市場の回復に伴い旅行代理店の手配需要は増加傾向にあります。

その他事業においては、株式会社CORDA※を中心に、コンシューマ課金サービス、事業化を検討している新規事業を営んでおります。

(※) 株式会社にじげんは2023年7月1日付けで株式会社CORDAに商号変更しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は5,460百万円（前年同期比33.0%増）、売上総利益は4,532百万円（前年同期比32.6%増）、EBITDA※は1,505百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は1,203百万円（前年同期比23.7%増）、税引前四半期利益は1,207百万円（前年同期比24.3%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は847百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

（※）EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は30,310百万円（前連結会計年度末比83百万円減）となりました。これは主に、使用権資産が98百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は13,801百万円（前連結会計年度末比519百万円減）となりました。これは主に、借入金が448百万円減少したこと等によるものであります。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は16,509百万円（前連結会計年度末比436百万円増）となりました。これは主に、利益剰余金が431百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末より177百万円減少し、9,776百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、943百万円となりました。これは主に、税引前四半期利益の計上1,207百万円、預り金の増加額230百万円、減価償却費及び償却費の計上額302百万円、法人所得税等の支払額1,220百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、147百万円となりました。これは主に、無形資産の取得による支出181百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、981百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入900百万円、長期借入金の返済による支出1,348百万円、配当金の支払額413百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に発表した「2023年3月期 決算短信」に記載の数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	9,953	9,776
営業債権及びその他の債権	3,378	3,223
その他の金融資産	44	11
その他の流動資産	933	1,239
流動資産合計	14,308	14,248
非流動資産		
有形固定資産	142	142
使用権資産	1,408	1,310
のれん	9,911	9,911
無形資産	2,419	2,434
その他の金融資産	897	893
繰延税金資産	1,307	1,366
その他の非流動資産	3	6
非流動資産合計	16,086	16,062
資産合計	30,393	30,310

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	3,051	2,296
営業債務及びその他の債務	1,872	1,932
その他の金融負債	3,099	3,332
未払法人所得税等	817	419
引当金	126	122
リース負債	464	471
その他の流動負債	1,608	1,737
流動負債合計	11,037	10,309
非流動負債		
借入金	2,178	2,486
引当金	184	184
リース負債	900	801
繰延税金負債	0	0
その他の非流動負債	20	21
非流動負債合計	3,283	3,493
負債合計	14,320	13,801
資本		
資本金	125	125
資本剰余金	4,969	4,969
利益剰余金	13,776	14,207
自己株式	△2,801	△2,801
その他の資本の構成要素	4	9
親会社の所有者に帰属する 持分合計	16,073	16,509
資本合計	16,073	16,509
負債及び資本合計	30,393	30,310

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	4,105	5,460
売上原価	△686	△928
売上総利益	3,419	4,532
販売費及び一般管理費	△2,456	△3,336
その他の収益	10	14
その他の費用	△1	△7
営業利益	972	1,203
金融収益	0	11
金融費用	△2	△4
持分法による投資損益(△は損失)	—	△3
税引前四半期利益	971	1,207
法人所得税費用	△276	△359
四半期利益	694	847
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	694	847
非支配持分	—	—
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	6.45	8.15
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	6.45	8.15

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	694	847
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5	4
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5	4
その他の包括利益合計	5	4
四半期包括利益	699	852
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	699	852
非支配持分	—	—

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
2022年4月1日残高	2,552	2,542	11,224	△1,399	10	14,929	14,929
四半期利益	—	—	694	—	—	694	694
その他の包括利益	—	—	—	—	5	5	5
四半期包括利益合計	—	—	694	—	5	699	699
配当金	—	—	△378	—	—	△378	△378
自己株式の取得	—	—	—	△568	—	△568	△568
その他	—	0	—	—	△0	△0	△0
所有者との取引額合計	—	0	△378	△568	△0	△946	△946
2022年6月30日残高	2,552	2,542	11,540	△1,967	14	14,682	14,682

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
2023年4月1日残高	125	4,969	13,776	△2,801	4	16,073	16,073
四半期利益	—	—	847	—	—	847	847
その他の包括利益	—	—	—	—	4	4	4
四半期包括利益合計	—	—	847	—	4	852	852
配当金	—	—	△416	—	—	△416	△416
その他	—	△0	—	—	0	0	0
所有者との取引額合計	—	△0	△416	—	0	△416	△416
2023年6月30日残高	125	4,969	14,207	△2,801	9	16,509	16,509

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	971	1,207
減価償却費及び償却費	232	302
金融収益及び金融費用(△は益)	1	△7
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	2	155
前渡金の増減額(△は増加)	△285	143
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	244	55
前受金の増減額(△は減少)	151	92
預り金の増減額(△は減少)	137	230
預り保証金の増減額(△は減少)	12	2
未払消費税等の増減額(△は減少)	△39	△14
その他	△87	0
小計	1,340	2,166
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△2	△4
法人所得税等の支払額	△429	△1,220
法人所得税等の還付額	2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	911	943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11	△11
無形資産の取得による支出	△230	△181
敷金・保証金の回収による収入	24	30
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△164	—
その他	△1	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500	—
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△159	△1,348
リース負債の返済による支出	△103	△121
配当金の支払額	△373	△413
自己株式の取得による支出	△568	—
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△232	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△935	△981
現金及び現金同等物の換算差額	5	8
現金及び現金同等物の増減額	△402	△177
現金及び現金同等物の期首残高	8,588	9,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,186	9,776

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。